

夢を応援するもの

大石千夏

夢がある

夢が光で 進むべき道

それに向かって走る

私は前だけを見る

すべては未来のために

太陽が言った

遠くばかり見ていない？

鳥が言った



大切なものはひとつだけ？

月が言った

あなたは気付いている？

空が言った

答えはひとつじゃないよ

雲が雨を降らす

目の前が真っ黒になって  
たまらずその場に蹲った

早く 早く立ち上がらないと

速く走らないと 置いて行かれてしまう  
唯一の光を失ってしまう

そのとき私は 初めて前から視線をはずした

足元に出来た水たまりは

夜空の星々を反射させて

きらきら光るそれらは  
私が求めた夢のようで

急ぎすぎて 大切なものを見失っていた  
ときには立ち止まることも必要なのだ  
幸せは案外近くにあるものだから